

行なった。3次期特別研究集会について。二〇一〇年九月三日（金）・四日（土）に東北歴史博物館において開催する旨報告があった。4会計報告。二〇〇六年度の決算報告と監査報告があり、承認された。5『木簡研究』第三〇号の編集について。編集体制と編集状況について報告があった。6第三〇回総会・研究集会について。日程及び内容について検討した。7三〇周年記念事業。二〇〇九年の第三一回研究集会（二〇〇九年二月五日（土）・六日（日））の二日目の午後、一般向けの記念シンポジウムを実施することが了承され（下記会告参照）、実行委員会を組織して内容を検討することになった。8その他。

◇二〇〇八年一〇月二七日（月）一四時～一七時

於奈良文化財研究所小講堂

以下の案件について、報告・討議を行なった。

1会務について。会員の異動、常任委員会などの開催。また、名簿の作成の遅延についての報告があり、次年度の刊行をとすることが了承された。2入会審査。第一回委員会に引き続き新入会申込者一〇名についての審査を行い、個人会員九名、海外会員一名の入会が認められた。3会計報告。二〇〇七年度の間報告があり、二〇〇九年度予算案の検討を行なった。4『木簡研究』第三〇号の編集について。編集状況について報告があった。バックナンバーの在庫過剰に対処するため、今号から印刷部数を減らすことが了承された。

また、在庫削減の方策についても検討した。5第三〇回総会・研究集会について。一二月に開催する本年度の総会・研究集会の内容について検討し、実施要項を決定した。6三〇周年記念事業。実行委員会から内容についての提案があり、了承された。7次期特別研究集会について。年度明け準備に取りかかる旨報告があった。8その他。役員改選や日本史以外の会員の勧誘について議論した。

（渡辺晃宏）

### 会告 三〇周年記念シンポジウムの開催について

来年度の第三一回総会・研究集会に合わせて、三〇周年記念シンポジウムを開催いたします。奈良において木簡学会が広く一般を対象として実施する初めての行事となります。

これに伴い、左記のように会場と開催時間が変則的になる見込みですので、ご留意ください。なお、一日目の開催場所は変更も予想されます。詳細は追ってお知らせ申し上げます。

#### 記

二〇〇九年二月五日（土）於奈良文化財研究所

総会 一〇時半開始。研究集会 一一時半開始

同 二月六日（日）於奈良県新公会堂

研究集会 九時～一二時（レセプションホール）

記念シンポジウム 一三時～一七時（能楽ホール）